

令和5年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(公民) 科目：(政治経済) 対象：(第3学年A組～F組)

科目担当者：福田 貢士 ㊤

教科・科目の 指導目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
----------------	---

	前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に得点が高くはなく、義務教育段階の学習事項が定着している生徒は少ないと思われる。 ・複数の資料（表やグラフ）を見て、変化を説明する問題で、そもそも解答しない生徒が5割程いた。また、解答がしてあっても不十分なものが多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の確認 義務教育段階の学習事項の定着を常に確認しながら授業を構成する。 ・学習習慣の定着 ノートの取り方から丁寧に指導する。質の高い者に高い評価をして励ますことで、生徒の学習の対するモチベーションを上げる。 ・思考・判断・表現力の育成 日頃から資料等に触れ、比較する習慣をつけさせる。また、それを表現する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な学習事項を生徒にノートに書かせ、一つ一つ丁寧に説明することで、しっかりと理解させる。習熟の状況によって小テスト等を行い、確実な定着を目指す。 ・單元ごとに資料を活用して表現をさせる。また、定期考査においても記述式の問題を出題し、表現をする習慣をつけさせる。 ・現代社会の諸問題について考察するために、公民的分野以外にも地理的分野・歴史的分野の理解が不可欠であり、地歴・公民科の他科目との連携を密に行いつつ指導にあたる。また、必要に応じて家庭科・情報科との連携も行う。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			